

### ③第2分科会

「探究サイクル」を回すヒント

一般社団法人 未来創成学院  
理事 三宅 範行

自己紹介	三宅範行(みやけのりゆき) 一般社団法人 未来創成学院 理事	
探究	学校の枠を越えて高校生への伴走 高校・専門学校・大学での探究&ビジネスプラン授業 毎年、全国トップレベルの活躍をする高校生を輩出	
進路指導	総合型選抜・推薦入試などで高校生の進路実現 小論文・面接指導	
伝統文化	白石踊 (国指定重要無形民俗文化財&ユネスコ無形文化遺産)	
検定	eco検定(環境社会検定試験)	

生徒と一緒に試行錯誤しながら手探りで積み上げてきた探究方法のテキストは「探究の進め方が分かる」「全国大会出場につながった」など、好評である。

#### 1. はじめに

現在、各高校で探究に取り組まれておられますが、それぞれの高校の環境や状況、生徒の興味関心により、さまざまな取り組みがなされています。主に机上調査をしてまとめた内容を校内発表する形、研究や論文にまとめて校外でのプレゼンテーションを目指す形、興味関心に沿ってプロジェクトを実行する形やそこに地域の人や会社との連携が加わる形、校外での発表の場を求めてコンテスト応募する形などが見られます。しかし、例えば校外でのプレゼンテーションをするためには机上調査もプロジェクト学習も必要だったり、コンテストでアイデアが評価されたのでプロジェクトに移行す



るケースもあったりするので、多種多様だと思います。

この分科会では、まさに「さまざまな」探究の授業に携わっておられる先生方のお悩み事や解決事例を持ち寄っていただき、それぞれのお立場での取り組みに活用できるヒントをお持ち帰りいただきたいと考えました。



#### 2. 探究事例の紹介

グループワークでの話題が制度的なもの（人員配置、予算、時間数など）ではなくて、現場での先生方個人やチームで対応できる部分の工夫に焦点を当てたいという思いと、何かご出席の先生方の発想や発言のきっかけづくりになればと考えましたので、私が伴走してきた探究事例のご紹介から入りました。

#### 本日の流れ

1. 探究事例の紹介  
～どのような探究の伴走をなさってますか？～
2. 現場での探究のお悩みごと  
～どんなお悩みがありますか？～
3. 探究サイクルをまわすヒント（紹介）
4. 探究サイクルをまわすヒント（ワーク）  
～お悩み解消の実践例やアイデアをご紹介ください～
5. まとめ

#### 3. グループワーク

全国からお集まりいただいた先生方に小グループに分かれていただき、各グループで自己紹介の後に、それぞれの先生方がどのような探究をなさっているのか、課題や悩みがあれば共有いただくワークをしました。

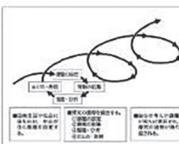
各グループで相互に自校の探究紹介や質問の投げかけが熱心に行われていました。その中で全体に共有したい悩み事や解決案を各グループから挙げていただきました。10項目が



挙げられましたが、ここでは3項目とそれに対しての先生方から提示いただいた解決案をご紹介します。

**現場での探究のお悩みごと**

探究サイクルがうまく回せない  
課題（テーマ）がなかなか決まらない  
外部の人や組織との繋がりが分からない



ネットサーフィンの時間になってしまふ  
大会出場はもっと優秀な生徒がすることで、自分には無理と生徒が最初から思い込んでいる

引用「今、究める心を高める総合的な探究の神髄(高等学校編)」P24  
令和6年3月 文部科学省

### (1) 教員の協力体制の作り方

#### 解決案

- ・やるしかない。一人がやりだすと周りが助けてくれる。
- ・まず教員が探究の面白さを知る必要がある。先生方が楽しんで取り組むと楽しさが周囲や生徒に伝播する。
- ・校長先生や管理職が楽しんでリーダーシップを発揮してもらう。学校全体で取り組む。
- ・探究の進め方についての先生向けの研修会も必要。いろいろな探究学習の研修会を校内で実施するほか、校外のこのような研修会に出席すると楽しさも分かる。

### (2) 授業中に校外に出る時間を作れないこと

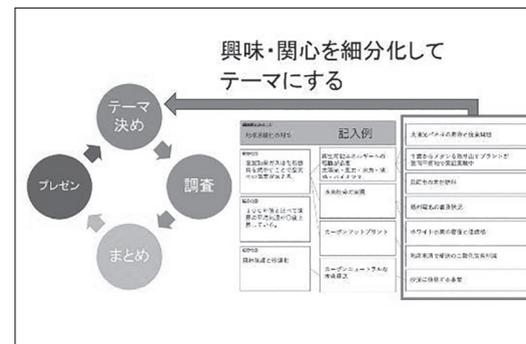
#### 解決案

- ・教員が二人組（一人はレポート役、一人は撮影役）で校外に出て地域の様子を録画や実況中継して、生徒が教室内で見ると、現地に行ったような疑似体験ができる。

### (3) 課題設定が上手くいかないこと

#### 解決案

- ・地域の歴史的行事を題材にする（例：姫路城改修）。
- ・時代、社会状況が変化して課題（困りごと）となっている点に着眼して、解決策を考える。
- ・補足として、テーマを細分化して高校生がアクションを起こしやすい課題設定をすることを私からは申し添えました。



### 4. まとめ

ご参加いただいた先生方とのワークショップの中で「先生も生徒も楽しんで」「楽しさが伝播する」というフレーズが印象に残りました。その楽しさを知る一つの方法として、研修会参加があるのご指摘もいただきました。大阪商業大学起業教育研究会は全国から先生方がお越しになり、各地の様子や先進事例にも触れる絶好の機会ですので、多くの刺激を私もいただくことができました。

探究自体が答えの無い課題に向き合ううえ、テーマが多岐にわたるので、生徒に伴走するにあたっては難しいことや悩みも出てきます。この解決方法はケースバイケースになると思いますが、当分科会での意見交換が先生方のお役に立てるならば幸甚です。

